

# 愛難連第 51 回大会の報告

愛知県難病団体連合会第 51 回大会「かかりつけ医としての在宅医療の実践」を以下のよう  
に開催しました。

日 時 令和 5 年 9 月 16 日 (月・敬老の日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場 東別院会館ホール 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘 2

テーマ かかりつけ医としての在宅医療の実践

講 演 1 かかりつけ医としての在宅医療の実践

講師 安井 直 先生 先生

医療法人 敬寿会 理事長

やすい内科・診療所大府

訪問看護ステーションハーモニー

2 医師・多職種との連携と訪問看護のケアの実際

講師 柴田 久香 先生

訪問看護ステーションハーモニー 管理者

参加対象 難病患者・家族、支援者、議員、一般の方

後 援 愛知県、名古屋市、愛知県医師会、愛知県共同募金会、中日新聞社、  
中日新聞社会事業団、東海テレビ福祉文化事業団、中部善意銀行、  
愛知難病救済基金、愛知県医療ソーシャルワーカー協会、  
愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会

参加費 無料

当日の参加者数は来賓 (12 名) 含めて 80 人でした。

安井先生のご講演は

「かかりつけ医とは」「在宅医療とのかかわり」「医療機関の機能分化による在宅医療  
の必要性」「医療介護連携の重要性」をお話いただきました。

「在宅医療を安心して受けられるようになるには」について「急性期病院から在宅あ  
るいは多様な居住の場へのつなぎを円滑に進める必要がある、とされました。

「在宅医療を地域で連携して行う体制として」(1) 介護を含めた多職種での連携体  
制、(2) 急性増悪の際の緊急入院体制 (緊急入院先の確保)、(2) 急性増悪の際の緊  
急入院体制 (緊急入院先の確保)、(3) 医師による看取りの体制 (複数の医師の連携等)  
(4) 自宅以外の多様な居住場の確保、その場での在宅医療の提供、  
を含めた連携体制を、地域ごとに構築する必要がある、とされました。

柴田先生のご講演は

「訪問看護ステーションの仕事・役割」を説明され、「訪問介護のケアの実際」とし  
て、「慢性炎症性脱髄性多発神経症 (CIPD) / 多巣性運動ニューロパチー、重症筋無力  
症」「パーキンソン病」「筋委縮性側索硬化症 (ALS)」のケースを具体的にお話いただき  
ました。

## 大会に御出席、欠席連絡・メッセージなどいただいた来賓のご紹介

愛知県医師会 会長 柵木充明様 (代読) 愛知県医師会理事 高橋 昌久 先生  
愛知県 愛知県保健医療局医務部健康対策課 担当課長 伊佐地映子 様  
名古屋市 名古屋市健康福祉局健康部健康増進課 担当課長 長沼 裕子 様

ご出席・欠席連絡・メッセージ等いただいた議員名を紹介します。(順不同)

### 参議院議員

大塚 耕平  
田島麻衣子  
酒井 庸行  
安江 伸夫  
藤川 政人  
斎藤 嘉隆  
伊藤 孝恵  
新妻 秀規

### 衆議院議員

近藤 昭一  
石井 拓  
熊田 裕通  
古川 元久  
工藤 彰三  
丹羽 秀樹  
鈴木 淳司  
吉田 統彦  
長坂 康正  
江崎 鐵磨  
牧 義夫  
今枝宗一郎  
神田 憲次  
伊藤 忠彦  
根本 幸典  
八木 哲也  
重徳 和彦  
本村 伸子  
杉本 和巳  
青山 周平  
中川 貴元  
山本 左近  
岬 麻紀

### 愛知県議会議員

ますだ裕二  
宮島 謙治  
藤原 聖  
加藤 貴志  
田中 泰彦  
浦野 隼次  
山本 浩史  
南部 文宏  
成田 修  
長江 正成  
阿部 洋祐  
柴田 高伸

### 名古屋市議会議員

藤沢 ちあき  
西川 ひさし  
岩本 たかひろ  
月森 たくや  
田口 一登

(愛知県選出の国会議員、愛知県議会福祉医療委員会委員、名古屋市財政福祉委員会委員など64議員に案内状をお送りしました)